

総務部 防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（平成28年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	25人	27人	510人	544人

イ 行事

(ア) 6月14日 第11回米子市消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部

優勝 夜見分団、準優勝 成実分団、第3位 淀江町第1分団

b 小型ポンプ操法の部

優勝 福生東分団、準優勝 車尾分団、第3位 河崎分団

(イ) 7月5日 第61回鳥取県消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部 夜見分団 優勝 成実分団5位

b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 優勝 車尾分団3位

(ウ) 9月6日 米子市消防団水防訓練（鳥取県消防学校）

(エ) 1月10日 米子市消防出初式（米子市文化ホール）

(オ) 3月6日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習（鳥取県消防学校）

(カ) 随時 女性消防団員の防火予防広報（市内保育園・幼稚園、自治会等）

ウ 消防団員教育訓練

(ア) 米子市主催のもの

a 5月17日 消防ポンプ操法研修会（西部消防局）

b 6月8日 米子市消防ポンプ操法大会審査員説明会（西部消防局）

c 8月23日 南部・箕蚊屋・淀江町ブロック救急訓練及び規律訓練（鳥取県消防学校）

d 10月4日 機関員実施訓練（西部消防局）

e 11月1日 弓浜ブロック大会（鳥取県消防学校）

f 11月15日 中部ブロック規律訓練（西部消防局）

(イ) 鳥取県消防学校入校によるもの

a 5月9日・10日 消防団員特別教育・消防操法指導科（第38期）

b 5月23日 消防団員基礎教育（第66期）

c 8月3日・4日・5日 応急手当普及員講習

d 9月5日 消防団員専科教育・機関科（第50期）

e 10月24日 消防団員女性団員教育（第9期）

f 11月8日 消防団員基礎教育（第67期）

g 11月28日・29日 現場指揮課程（第1期）

h 2月13日・14日 応急手当指導員講習

i 2月27日 分団指揮課程（第1期）

エ 報酬及び費用弁償

(単位：円)

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報酬年額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等 (主なもの)

表 彰 等 の 種 類	被 表 彰 者			
	所 属	階 級	氏 名	
藍 綬 褒 章	本 部	副 団 長	吹 野 悦 郎	
	就 将 分 団	分 団 長	池 本 嘉 明	
消防庁長官表彰	永年勤続 功労章	車 尾 分 団	分 団 長	稲 倉 隆
		尚 徳 分 団	分 団 長	江 原 正 光
		富 益 分 団	分 団 長	角 英
		和 田 分 団	分 団 長	吉 田 力
		福 米 西 分 団	分 団 長	大 上 幸 夫
		淀江町第1分団	分 団 長	浅 田 正 人
		福 米 東 分 団	分 団 長	杉 本 泰 則
		淀江町第2分団	分 団 長	谷 田 稔
日本消防協会長表彰	精績章	福 生 東 分 団	分 団 長	杉 尾 繁 樹
		淀江町第2分団	分 団 長	谷 田 稔
		女 性 分 団	分 団 長	山 根 美 和 子
	勤続章	尚 徳 分 団	副分団長	森 田 学
		春 日 東 分 団	副分団長	田 川 文 男
		啓 成 分 団	部 長	細 田 登
		尚 徳 分 団	部 長	長 谷 川 満
		巖 分 団	部 長	谷 尾 勝 俊
		崎 津 分 団	部 長	安 田 秀
		大 篠 津 分 団	部 長	安 田 武 司
尚 徳 分 団	班 長	長 谷 川 俊 弘		
尚 徳 分 団	団 員	長 谷 川 尚 秀		
淀江町第1分団	団 員	新 畑 和 久		
鳥取県知事表彰	功労章	河 崎 分 団	副分団長	足 芝 恭 志 郎
	功績章	明 道 分 団	副分団長	岩 佐 訓 良
		五 千 石 分 団	副分団長	中 谷 安 秀
		和 田 分 団	副分団長	井 田 秀 人
和 田 分 団	部 長	林 田 政 信		

表彰等の種類		被 表 彰 者		
		所 属	階 級	氏 名
鳥取県知事表彰	功績章	淀江町第1分団	部 長	柄 川 英 彦
		五千石分団	班 長	山 本 和 美
		淀江町第2分団	班 長	伊 澤 博 章
鳥取県消防協会長表彰	功績章	明 道 分 団	分 団 長	末 次 誠
		五千石分団	副分団長	山 本 忠 彦
		春 日 分 団	部 長	植 田 省 吾
		大 篠 津 分 団	部 長	濱 田 俊 一 郎
		尚 徳 分 団	班 長	長 谷 川 俊 弘
		県 分 団	班 長	田 村 光 徳
		大 高 分 団	班 長	宮 下 孝 志
		啓 成 分 団	班 長	長 谷 川 勝 巳
		五千石分団	班 長	長 谷 川 俊
		福 米 東 分 団	班 長	相 野 幸 治
		福 米 東 分 団	班 長	河 津 幹 夫
		大 篠 津 分 団	班 長	浜 田 浩 孝
	功労章	就 将 分 団	部 長	池 吉 實
		淀江町第2分団	部 長	渡 辺 純 一
	勤続章	成 実 分 団	副分団長	石 井 浩 一
		県 分 団	副分団長	養 藤 繁
		啓 成 分 団	班 長	長 谷 川 勝 巳
		成 実 分 団	部 長	深 田 誠 二
		成 実 分 団	班 長	潮 隆 博
		成 実 分 団	班 長	福 長 正 樹
大 高 分 団		班 長	宮 下 孝 志	
県 分 団		班 長	金 田 慎 一	
県 分 団	班 長	田 村 光 徳		
淀江町第1分団	班 長	中 西 実		

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団彦名分団車庫トイレ改修工事を行った。

ウ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入による更新を行った。

(ア) 更新車両

米子市消防団尚徳分団に配備されている車両。

(イ) 規格（型式） CD-1型、A-2級

2 防災関係

(1) 米子市防災訓練

防災意識の高揚を図ることを目的とし、福生東地区において、津波災害を想定した住民参加型の避難訓練を実施した。

ア 開催日 平成27年10月3日（土）

イ 開催会場 福生東公民館

ウ 参加機関 米子市、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、米子警察署、米子市消防団（福生東分団・女性分団）、福生東地区自治連合会、福生東公民館、鳥取県ライトハウス、鳥取県営米子屋内プール

エ 参加者数 約300人

オ 実施内容 広報訓練、避難訓練、要配慮者利用施設避難訓練、炊出訓練、情報伝達訓練

(2) 土砂災害避難訓練

鳥取県主催の土砂災害訓練にあわせ、住民避難訓練を実施した。

ア 開催日 平成27年6月4日（木）

イ 開催会場 祇園町2丁目公民館

ウ 参加機関 米子市、米子警察署、祇園町2丁目防災会

エ 参加者数 約30人

オ 実施内容 避難広報、避難訓練(要配慮者含む)、避難誘導

(3) 防災行政用無線

保守点検を実施した。

業務委託料	5,461,020円		
委託業者	電気興業株式会社中四国支店、株式会社タイヨー通信		
点検概要	同報系	親局	2局
		遠隔制御装置	34台
		屋外拡声子局	169局
	移動系	基地局	2局
		車載型無線機	14台

(4) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

平成27年度には新たに5団体が結成され、米子市全体で218組織となった。

ア 平成27年度新規結成組織（米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体）

(ア) 名称 奥谷防災会、糺二西自治会防災会、富士二防災会、河崎団地西防災会、彦名六区自治会防災会

(イ) 世帯数 513世帯

(ウ) 助成額 252,600円

イ 平成27年度自主防災組織育成補助金 交付実績

- (ア) 交付件数 116件
- (イ) 交付合計額 2,699,000円

ウ 平成27年度自主防災組織研修会

自主防災組織の結成率向上及び更なる活性化を目的に実施した。

- (ア) 開催日時 平成28年3月6日(日)
- (イ) 開催場所 米子市役所本庁舎401会議室
- (ウ) 参加者 約200人(自主防災組織及び未結成自治会)

3 災害関係

(1) 台風11号(7月16日～17日)

- ア 自主避難所開設 12施設
- イ 被害状況 人的被害なし、住的被害なし

(2) 台風18号(9月9日～10日)

- ア 自主避難所開設 12施設
- イ 被害状況 人的被害なし、住的被害1件

(3) 異常低温災害における出水不良(1月24日～2月9日)

1月24日からの異常低温(-5.8℃)により、給水管等が多数破損し、漏水による排水量が急激に増加したため、給水圧が低下(0.08mp)し、給水区域全域で多数の出水不良が発生した。

- ア 米子市災害対策本部(1月26日～29日)
- イ 水道局による応急給水、修繕、止水(1月24日～2月9日)
米子市による給水支援、公民館等に対する給水袋、ペットボトル飲料水の配送(1月26日～29日)
- ウ 被害状況
水圧低下に伴う影響戸数 約75,000戸(1月26日)
修繕等の受付総戸数 4,269件

4 災害時における協力関係

(1) 災害時応援協定関係

- ア 平成27年5月13日にNPO法人 コメリ災害対策センターと「災害時における物資の供給に関する協定」を締結した。
- イ 平成27年7月2日にとっとり福祉サービス(有)内鳥取県民間介護事業者協議会と「災害時における支援に関する協定」を締結した。

5 防犯対策関係

(1) 米子市防犯協議会総会

5月18日、市役所本庁舎5階議会第2会議室で開催した。

- 会 長 松 本 眞 (米子市自治連合会長)
- 副 会 長 池 田 弘 (米子市自治連合会副会長)
- ” 後 藤 巖 (米子市社会福祉協議会長)
- ” 栢 木 隆 志 (米子市学校校外指導連絡協議会長)

(2) 防犯灯設置費等補助金の交付

各自治会防犯灯の設置等について助成を行った。

ア 新設及び移設	84基	1,830,300円
イ 光源形式の切換	260基	1,820,000円
ウ 照明器具の取替	8基	42,000円

(3) 防犯灯電灯料補助金の交付

各自治会防犯灯の電灯料について助成を行った。

5,725灯	8,787,548円
--------	------------

6 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動

米子市交通安全運動推進協議会の主唱により、各運動期間中に各種運動を実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の全国交通安全運動	5月11日 ～ 5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（文化ホール多目的広場） ○ 街頭広報（米子駅前） ○ 交差点での安全確認励行街頭広報（市内主要交差点） ○ 安来市合同ドライバー広報（国道9号 安来市 道の駅あらエッサ） ○ 自転車利用者マナーアップ広報（米子駅前） ○ 飲酒運転根絶広報（米子駅前） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ 街頭パレード（弓浜地区）
夏の交通安全県民運動	7月6日 ～ 7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（文化ホール多目的広場） ○ 街頭広報（米子駅前周辺） ○ 交差点での安全確認励行街頭広報（市内主要交差点） ○ 飲酒運転根絶広報（米子駅前周辺） ○ 大山町合同ドライバー広報（淀江町本宮展望駐車場） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場）
秋の全国交通安全運動	9月21日 ～ 9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（文化ホール多目的広場） ○ 交差点での安全確認励行街頭広報（市内主要交差点） ○ 市内交通安全広報（広報車） ○ ドライバー広報（県道米子広瀬線） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ 街頭パレード（弓浜地区）
年末の交通安全県民運動	12月7日 ～ 12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（文化ホール多目的広場） ○ 交通安全ピカピカパレード（国道181号線） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ 境港市合同ドライバー広報（内浜産業道路） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場）

(2) 交通安全活動の推進

ア 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

(ア) 人数 77人（平成28年3月31日現在）

(イ) 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。

交通安全運動（年4回）の推進。

米子がいな祭、皆生トライアスロン大会などでの交通安全確保の協力。

イ 米子市交通安全えがおの会の活動推進

市内27地区のえがおの会の活動を助成。

交通安全運動（年4回）の推進。

女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などへの参加。

7 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

平成27年6月2日、市役所本庁舎4階401会議室で開催した。

会 長 野 坂 康 夫 （米子市長）

副 会 長 松 本 眞 （米子市自治連合会長）

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数分配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

(3) 皆生海岸に番号表示板を設置

津波対策、水難事故防止及び捜索活動の円滑化を図るため、皆生海岸に番号表示板を12箇所通年設置した。

8 米子市防災会議

(1) 会議の開催

米子市地域防災計画（原子力災害対策編）及び米子市広域住民避難計画の修正について審議を行い、計画を見直した。

ア 開催期日 平成27年10月8日

イ 開催場所 市役所本庁舎401会議室

9 原子力防災関係

(1) 防災訓練の実施

島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で鳥取県、島根県、島根原発周辺市及び関係機関と合同で原子力発電所事故の通報を受けてから住民避難にかかるまでの初動対応訓練とJR、バス、ヘリコプターなど、様々な移動手段を使った避難訓練を実施した。

また、避難経路や避難先を住民の方に理解していただくため、避難先等確認訓練も実施した。

ア 初動対応訓練

(ア) 開催日 平成27年10月23日(金)

(イ) 会場 市役所本庁舎第2応接室

イ 避難訓練

(ア) 開催日 平成27年10月25日(日)

(イ) 参加地区 彦名地区

(ウ) 参加者 約230人

ウ 避難先及び避難経路確認訓練

(ア) 実施日 平成27年9月30日(水)

(イ) 実施地区 加茂地区

(ウ) 参加者 約20人

(2) 原子力防災講演会の開催

鳥取県、境港市と合同で開催した。

ア 開催日 平成27年5月16日(土)

イ 会場 境港市・夢みなとタワー

ウ 講師 長崎大学原爆後障害医療研究所 教授 高村昇

(3) 米子市原子力発電所環境安全対策協議会の開催

島根原子力発電所の安全対策等を把握し、市民の安全及び健康の確保に資するため、各種の団体職員及び公募により選定した団体の構成員などで協議会を結成し、1回目の協議会を開催した。

ア 開催日 平成28年2月18日(木)

イ 会場 市役所本庁舎議会第2会議室